CITIZEN®

電波時計（電子音目覚まし時計）取扱説明書

取扱説明書番号 E232-CXXZ

～ 製品の特長 ～

- **●標準電波を受信して正しい時刻に自動修正**
- **●暗くなると文字板面を自動照明、明るさ「明」「暗」切り替え式**
- **●暗くなると秒針が12時位置に停止**

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元　**リズム時計工業株式会社**

〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RL400」をお伝えください。

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告　この表示は、「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意　この表示は、「**傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止　この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

強制　この表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告　小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止　分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意　本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止　下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- ●温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- ●温度が−10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- ●浴室など湿気が多いところ。
- ●ほこりが多く発生するところ。
- ●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●温泉場など、ガスの発生する所。
- ●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ●時計を軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

お手入れについて

- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは、強制受信ボタンを押してください。

蓄光性夜光塗料「ナチュライト」について

- ●ナチュライトは紫外線を含んだ光（例 蛍光灯）により励起され発光します。
  白熱電球などは紫外線が少ないため光源としては適していません。
- ●発光時間は、60 ワット以上の蛍光灯の光を 1.5m 以内で 30 分以上直接当てた場合、8 時間程度お手元で発光が確認できます。
  明るさや受光時間が不足すると短い時間で暗くなります。
- ●蓄光の特徴として時間の経過とともに明るさが低下します。
- ●目視による発光の確認は、視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離などにより影響を受けます。
- ●明るいところから暗いところに入った場合、目が暗さに慣れるまで発光が確認しにくいことがあります。

おもな製品仕様

項目	内容
使用温度範囲	−10～+50℃
時間精度	表示精度　標準電波受信直後 秒針　±1秒 時分針　目盛りに対して ±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒（常温中のクオーツ精度）
アラーム精度	表示時刻に対して0秒
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS 規格 LR6　4個
電池寿命	約1年　受信に成功し、1日に7時間秒針停止、アラームを30 秒 / 日鳴らして、照明を「弱」で7時間 / 日 使用
アラーム機能	アラーム音：電子音　鳴り方が変化 スヌーズ機能（止めてもまた鳴る） オートストップ機能（自動鳴り止め） アラーム音モニター機能
照明機能	ライトボタンで約5秒間残照機能 明暗センサーと連動して暗くなると自動照明 明るさ2段階切り替え
明暗センサー	暗くなると秒針を12時位置で停止
電池交換時期お知らせ機能	明るいところでも秒針が12時位置に停止
確認音	操作を短い電子音で知らせる アラームスイッチを ON にしたとき / 強制受信ボタンを押して受信を開始したとき

標準電波機能
受信局自動選択　福島局 / 九州局
電波受信機能　ON/OFF 切替
自動受信　最少　1日1回　最多　1日6回
受信状態により、受信回数は変化します。
受信開始時刻
2時16分20秒　3時16分20秒
4時16分20秒　12時16分20秒
13時16分20秒　14時16分20秒
受信結果の確認
スヌーズボタンを約2秒間押して「ピピ」と受信確認音が鳴れば受信成功。
※暗いところでは受信確認音が鳴りません。

※電池寿命は、標準電波の受信に成功して、明暗センサーにより、1日に7時間秒針が停止しているときのものです。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品	
単3形アルカリ乾電池	4個
取扱説明書	本書　保証書　1枚

電池のご注意　（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- ●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- ●種類の異なる電池を混ぜない 。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●幼児の手が届かないところに置く 。
- ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- ●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。㊟ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- ●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
  （例 . Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

注意
- ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- ●電池を充電しない。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池をショートさせない。
- ●時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告　**電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。**
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意　**もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。**
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- ●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- ●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- ●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意　火に入れると破裂の原因となり危険です。

電波時計について

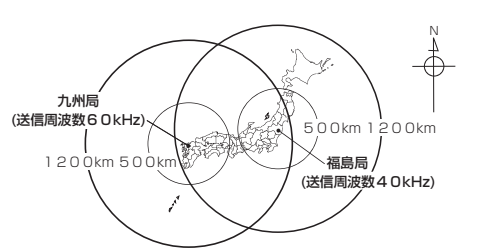
電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。　(http://jjy.nict.go.jp)

Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

強制受信ボタンを連続して4回押してください。
強制受信ボタンを押すタイミングは、**確認音が鳴り始めたらすぐに押してください。**
受信機能がOFFになると、強制受信ボタンを押しても確認音が鳴りません。
▶時刻は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

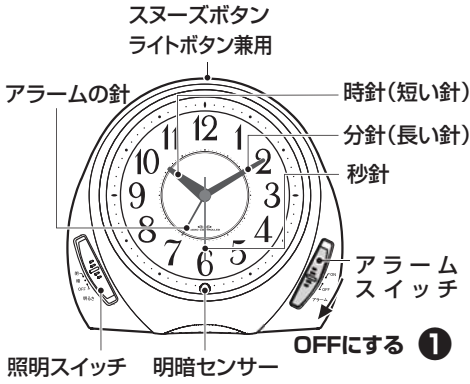
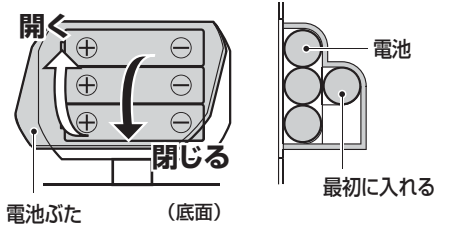
先に**時刻合わせボタン**を押し続けながら、**強制受信ボタン**を押してすぐ離し、その後に**時刻合わせボタン**を離します。
確認音が鳴り、照明ランプが点滅します。
この後、**必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。**

アドバイス

受信機能をOFFにするときは、確認音が鳴り始めたらすぐに強制受信ボタンを押す操作を確認音が鳴らなくなるまで繰り返してください。

- ○**工場出荷時の受信機能の設定は、ONになっています。**
- ○この説明の中で「押す」は「押してすぐ離す」ことを意味しています。
- ○操作のタイミングによっては、ONまたはOFFに切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
- ○**受信機能がOFFのときに、電池を取り出しても設定を長い時間保持します。受信機能をONにするには、上記の説明に従って操作してください。**
- ○受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと早送りでおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。

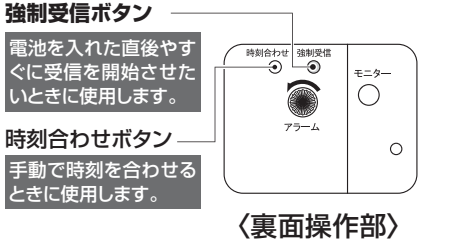
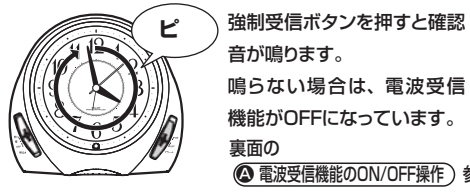
1 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

〈電池の入れ方〉❷

電池ぶたを開け、電池を入れて電池ぶたを閉じる。
電池の⊕⊖を逆向きに入れると、電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。

❸

〈裏面操作部〉

【受信の流れと受信結果の確認】

強制受信ボタンを押すと確認音が鳴ります。
鳴らない場合は、電波受信機能がOFFになっています。
裏面の Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作 参照

4、8、12 時のいずれかの時刻に移動します。
移動後、針が停止して受信を開始します。

最長16分後に受信終了→針が動き出す
スヌーズボタンを約2秒間押し続けて受信結果を確認します。

受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**電波を受信できない場合**の**「手動での時刻の合わせ方」**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ アラームスイッチをOFFにする
ONでは受信結果の確認ができません。

❷ **電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を4個入れる**
☞**〈電池の入れ方〉**参照。

❸ 強制受信ボタンを押す
確認音が鳴り、針が動き出し、4、8、12時のいずれかに停止します。
電池を入れた後は、誤作動防止のため必ず強制受信ボタンを押してください。

❹ 受信を終了するまで待つ
最長16分ほどで受信が終了し、時針・分針が早送りで時刻を指します。
○受信中は、操作ボタンには触れないでください。

❺ スヌーズボタンを約2秒間押して結果を確認する
【受信の流れと受信結果の確認】参照
受信成功：受信確認音が鳴ります。
受信失敗：受信確認音が鳴りません。
受信に失敗した場合は、
電波を受信できない場合 を参照。

○受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
○受信が成功しているのに、時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

○確認音は、強制受信ボタンを押したとき、アラームスイッチをONにしたときに「ピ」と鳴ります。
○受信確認音は、標準電波の受信に成功していると「ピピ」と鳴ります。
受信結果を確認するには、スヌーズボタンを約2秒間押し続けます。
※受信確認音はアラームスイッチがONのときまたは暗い所では鳴りません。

針の動き……通常の時刻表示
時針・分針：10秒に1回動きます。
秒針　　　：連続して動きます。
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。
※秒針は早送りしません。
※時刻を修正するときに、秒針は、最長で61秒程度停止しています。

電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして、なるべく時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように置き、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で標準電波を受信させるか、手動で時刻を合わせてください。通常のクオーツ時計としてご使用になれます。

手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
標準電波を受信できない場合の時間精度はクオーツ精度になります。
●受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。→ 裏面の **Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作** 参照
㊟ボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。

時刻合わせボタンを押すと、時・分針の修正モードになります。
○時刻合わせボタンを押して、**すぐに離した場合は1分進みます。**
○時刻合わせボタンを**押し続けると早送りします。**
秒針の動きについて
時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。
時刻合わせボタンを離してから、**秒針が動き出すまでに最長で61秒程度停止することがあります。**

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

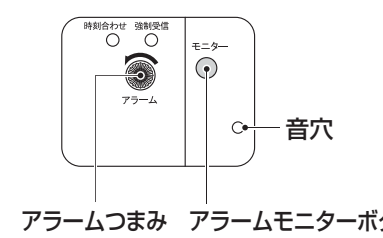
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの地下など
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

2 アラーム機能の使い方

必ず矢印方向に回す

（例:目覚まし時刻を6時20分にセット）

❶目覚まし時刻の合わせ方

アラームつまみを**必ず矢印の方向に回し**、アラームの針を目覚まし時刻に合わせます。
●目覚まし時刻は10分単位で設定できます。
●アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなることがあります。
●文字板のデザインにより、目覚まし時刻用の目盛がないタイプもあります。

❷アラームスイッチの設定

ＯＮ：合わせた時刻にアラームが鳴ります。
OFF：アラームを止める､鳴らさないとき。
※アラームスイッチを**ON**にすると、確認音が鳴ります。

❸アラーム音の試聴

モニターボタンを押すと、アラーム音が約30秒間鳴ります。
スヌーズボタン、モニターボタンまたはアラームスイッチを操作すると停止します。
※強制受信または時刻合わせボタンを操作するとアラーム音が停止し、受信または時刻合わせモードになります。

■スヌーズボタンについて

スヌーズボタンには3つの機能があります。
①スヌーズ機能　（アラーム音を一時的に止める）
アラームが鳴っているときに押すと、約5分間アラーム音が停止します。この機能は、アラームが鳴り出してから20～50分間繰り返し使えます。アラーム音を完全に止めるにはアラームスイッチを「**OFF**」にします。

②文字板面照明機能
スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。押している間と離してから約5秒間文字板面を照明します。
照明の明るさは、自動点灯の「明」より明るくなります。

②受信に成功している場合は受信確認音を鳴らす
25時間以内に電波の受信に成功しているときには、スヌーズボタンを2秒間押し続けると受信確認音が鳴ります。
※受信確認音はアラームスイッチがONのときや暗いところでは鳴りません。

■アラームオートストップ機能……………………………………自動鳴り止め機能

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて自動的に止まります。
アラームスイッチは「**ON**」のままです。

アラームご使用上の注意

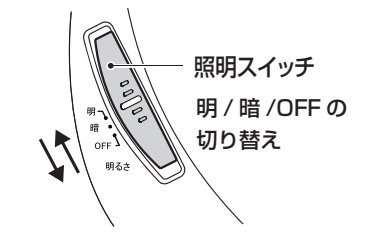
●アラームスイッチをONにしたままでは、毎日午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。
●アラームの音量は調節できません。

トラブル? アラームが鳴らない

●アラームつまみを回して、現在時刻に合わせたがアラームが鳴らない。
●時刻合わせボタンを操作してアラーム時刻に合わせたがアラームが鳴らない。

このようなときは、アラームスイッチを一度「OFF」にしてから「ON」にするとアラームが鳴り出します。

アラームつまみや時刻合わせボタンを操作してアラーム音を試聴するときには、アラームスイッチを「OFF」にしてから操作し、その後にアラームスイッチを「ON」にするとアラームが鳴り出します。

3 照明機能の使い方……………………………自動照明

明暗センサーと連動して、暗くなると自動点灯して文字板面を照明します。
明るさは、照明スイッチにより「明」「暗」の2段階から選択できます。
自動照明を使用しないときには、「OFF」にしてください。
※標準電波を受信しているときは、消灯します。
※「明」の明るさは、スヌーズボタン（ライトボタン）を押して照明したときよりも暗いです。

Ⓑ 明暗センサーのはたらき………暗くなると秒針停止、自動照明

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が 12 時位置に停止します。また、照明スイッチが「明」または「暗」に設定されているときは、文字板面を照明します。
昼間や夜間の照明された環境でも、明るさが不足するとセンサーが反応します。

Ⓒ 電池の交換時期お知らせ機能………………秒針が止まります

十分に明るいところで、秒針が12時位置に停止しているときは㊟、電池の交換時期です。指定の電池に速やかに交換してください。そのまま放置した場合、電池からの液もれが発生し、故障や家具などを汚す原因となります。
○交換時期のお知らせを開始してから1ヵ月程度は動き続けます。
○電池の交換時期になると照明機能が使えなくなります。
㊟ 強制受信ボタンを押して、受信しているときを除きます。

電池の交換について　早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

●時計が止まっているときは、指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
●動いていても1年に1回定期的に交換する。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。